

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）
事業所における自己評価結果

平成30年11月

※回答に当たり、事業所全体の視点での回答者と職員本人視点での回答者がいたため数字に表れている部分がある。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	1	1	3	限られた空間を有効に使用できるよう、机の配置や収納、マットでのコーナー分けを実施
	② 職員の配置数は適切であるか	1	2	2	加配し運転職員も配置しているが学校・自宅送迎と保育・療育全てへの対応には余裕があるとは言えないため人員確保を検討する
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1	トイレの段差への配慮、駐車場までの移動時の配慮をしている
業務改善	④ 業務改善を推進するためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	3	2	0	目標管理・業務意識についてのセルフチェック表の実施、会議他発言の機会を設けている
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか (無回答1)	3	1	0	放課後等デイサービスガイドラインの保護者評価を公表すると共に会議で改善点を検討している
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか(無回答1)	3	1	0	ホームページで公表している
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか (無回答1)	2	1	1	市の実地指導を受けている。第三者機関（業者等）については検討する
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	5	0	0	毎月職場内研修を実施。その他外部研修に適宜参加している
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	各職員の資質向上を図る
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	0	標準化されたアセスメントは専門家が実施すべきものであるため、今後も事業所作成のアセスメント表と保護者からの情報提供(専門家による知能検査等及び所見)双方を使用する。標準化されたアセスメントツールの使用については、児童福祉の動向を見ながら検討していく

	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	0	2	各活動の担当者が主となっているため、案を引き出したり提案する機会を増やす。体を動かす新たなプログラムを検討
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	3	1	高学年向けのプログラムを検討。外部公園や線路まで電車を見に行く等は継続する
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめて細やかに設定して支援しているか	1	3	1	持参の宿題の他、個別課題を提供している。長期休暇のおやつや昼食購入等小外出を検討する
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	1	3	1	現在の集団活動（朝の会等でのクイズや毎月の行事等）を継続しながら他の活動も検討する
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	3	1	打ち合わせという形態ではないが、事前に職員連絡帳や口頭にて伝え、また、その都度声を掛け合っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	2	2	打ち合わせという形態ではないが⑮と同様の形態で共有している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか (無回答1)	3	1	0	毎日の記録を基に、支援会議や日々の会話の中で検証・改善検討している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	1	0	各職員の資質向上を図る
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	1	3	1	日頃の地域活動は少ないが、可能な範囲で年2回の遠足や、天候に合わせて複数の公園を利用している。今後も検討していく
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか (無回答2)	0	2	1	(相談支援事業所のサービス担当者会議があまり開催されていない)
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡態勢を整えているか				
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか (無回答1)	3	1	0	当事業所の児童発達支援からの利用者のため情報共有できている

	②4	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				(現在の体制になってからの卒業生はいない。以前の体制で高校入学と共に他事業所に移行した児童については保護者を通しての情報提供にとどまった)
	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	1	専門機関の検査結果および所見は保護者から情報提供を受け、研修は個々で受講し職場内研修に反映している
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	1	4	事業所としては場がないが、個々が地域の学校に所属している人数が多い。また公園で遊び接する機会がある。今後も検討する
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。 (無回答1)	0	2	2	参加の機会があれば実施
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3	2	0	面談の実施の他、主に日々の連絡帳でやり取りしている。今後も共通理解の方法を検討すると共に各職員の資質向上を図る
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか (無回答1)	0	1	3	ペアレントトレーニングの専門家がおらずプログラムとしては実施できないが、可能な範囲で相談に対応し家族支援している
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか (無回答1)	3	1	0	契約時や変更・更新時に書面で伝えている。丁寧な説明をしていく
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	1	4	0	可能な範囲で実施している。知識・技術の向上を更に図る
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	4	保護者同士の連携の在り方について検討する
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	迅速・適切に対応していく
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	
	③5	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	4	1	0	配慮していく

	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	2	3	法人として近隣の別事業所が祭りに招待している。事業所がマンション店舗内にありガラス張りで比較的オープンな環境であるが、今後できることを検討する
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	保護者への周知方法について検討する
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか (無回答1)	4	0	0	避難訓練を実施し、広域避難場所への避難経路も体験している。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	毎年会議で扱っている
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	2	1	車椅子使用時のみ落下防止のための固定ベルトを使用することを保護者に了承済
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	2	0	保護者を通じて投薬方法等確認、おやつ提供にも配慮している
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	1	0	法人内の実際のヒヤリハット報告書等を会議で検討している

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）
保護者等からの事業所評価の集計結果

実施日	平成30年11月9日～12月10日
配布数	41件
回収数	24件
回答方法	無記名

※ご意見を踏まえての対応につきましては、『事業所における自己評価結果』も参考にご覧ください。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
環境・体制整備	① 子どもの活動スペースが十分に確保されているか	14	10	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・少し狭く感じるが目の行き届く広さでのびのび活動できているようだ ・室内のスペースでも十分だが、目の前に公園もあり良いと思う。 ・動けるスペースが狭い。 ・今は問題ないが成長と共に狭いと感じることがあるかも。 ・身体を動かす遊具（トランポリンなど）が欲しい。 ・施設自体は狭いが10人定員なので丁度良いと思う。 ・少し狭い気もするが子どもの人数や体の大きさを見てると十分な気もする。 	公園の利用の他、室内でも簡易サーキットや体操等で体を動かす活動を実施する。また、ラグや机等でスペース分けをして過ごしやすい環境を作る。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・OT/ST/PTなどの専門性は不明（知らない）だが適切に対応してもらっている。 ・加配をしているということで毎回十分だと思う。 	加配している。保育士・児童指導員・社会福祉士・特別支援教育士で対応している。

	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18	4	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ等施設の一部は見たことが無い。 ・バリアフリーになっている（施設内）。施設が入っているマンション自体は階段がありベビーカーだと送迎しづらい。 	トイレの段差は常時職員が付いて安全に配慮している。外は階段があるため適宜介助する。構造化、情報伝達の配慮は今後も継続しながら検討していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	20	4	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ等はわからないが全体的にきれいで個室もあり良い。 ・明るく清潔な空間で優しいスタッフが迎えてくれる ・室内は熱気でムンムンしてしまうことがある。空気の入替があるとよい。 ・外遊びや体力を使うことを増やして欲しい。 ・いつも清潔で良い環境だと思う。 	体を使う活動については①の通り。換気はしづらい作りであるが適宜実施していく。清掃・玩具消毒等は毎日実施しているため継続する。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・親も気付かない所に気が付いてくれたり課題が本人に合っている的確である。 ・面談をしっかりとした上で細かく計画を作成してくれる。 ・個人に沿った支援計画に基づいて行われていると思う。 	
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか (回答無記入 1)	21	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個人に合った内容を細かく設定してくれ実際にその通りに支援が行われている。 	地域支援が特に不足していると考えられるため検討していく。その他の面では個々に適した内容となるよう考慮する。

	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿って個別支援をしてくれ、その様子も細かく連絡ノートに記してくれる。 ・実際見ていないのでわからない。 ・毎回色々なカリキュラムで良く行われていると思う 	支援内容が保護者に伝わるよう連絡帳や口頭報告で実施していく。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	5	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・実際見ていないのでわからない。 ・毎回色々なカリキュラムで良く行われていると思う 	個別・小グループ・集団活動を組み合わせて実施していく。
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	7	3	11	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や認定こども園、幼稚園等の先生と連携を取ってほしい。 ・特にそういう事は行われていないと思う。 ・もしかしたらあるのかもしれないが聞いたことは無いように思う。 	連携については、保護者からの要望に応じて、保護者を通して情報交換する方法や、園への訪問等、可能な範囲で連携している。交流は事業所全体としては無いが公園で遊んだり、多くの児童が幼稚園等に所属している。
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回きちんと説明してもらえる。 ・契約時に丁寧に説明してくれた。 ・契約時に詳しく説明を受けた。 	丁寧にわかりやすく説明するようにする。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	22	0	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧に説明してくれる。 ・支援のガイドラインがよくわからない。 ・きちんと説明を受けた。 	ガイドラインの配付時期を検討すると共に個別支援計画の説明を丁寧に行う。

⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）等が行われているか	7	6	5	6	<ul style="list-style-type: none"> ・特に無いが相談するとの確なアドバイスをしていただけ。 ・相談に対する内容が家族支援プログラムなのかわからない。 ・相談にのってくれ確なアドバイスをもらえる。 	ペアレントトレーニングの専門家がいないためプログラムの実施はできないが、可能な範囲で相談に対応し家族支援を実施している。
⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳も丁寧であるし帰り際にも伝えてくれるため助かっている。 ・連絡ノートや送迎時に話している。 ・丁寧に連絡帳記載されている。 ・子どもの事を良く見てくれ、親が分からないようなことも見てもらえる。 	共通理解を図れるようやり取りしていく。
⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも相談に応じてくれ助言をもらえる。 ・いつも親身になって相談にのってくれ感謝している ・定期的かどうか分からないがいつもの確なアドバイスをもらっている ・いつも連絡帳や送迎の時にいろいろアドバイスをくれるので助かっている。 	面談の他、連絡帳や口頭で支援していく。
⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	5	9	10	<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことが無い為。 ・保護者会等はない。 ・あったら良いと思う。 	保護者同士の連携について検討する。
⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	19	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもよくやっていると思う。 	迅速・適切な対応をしていく。

	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳には毎回たくさんとても詳しく内容を記してくれるし送迎の際もいろいろと様子を教えてくれる。 ・十分なくらいにやってくれている ・連絡帳がとても細かく書いてくれる。様子がわかるので有難い。 	配慮している。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	21	1	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度のお便り、連絡帳などで情報をもらっている。 ・HPを見ていないのでわからない 	ホームページ等の紹介方法を検討する。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	24	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・最初の契約時にきちんと説明を受けている。 	
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明がされているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	14	1	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・出来ていると期待している。 	保護者への周知方法を検討する。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか (回答無記入 1)	12	2	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練等についてはわからないが適切に行われていると思う。 	避難訓練は年1～2回実施。花見川消防署への届け出をしている。

満足度	②②	子どもは通所を楽しみにしているか	19	5	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・行けば楽しいよ うだが、楽しみに していく日や行き たがらない日は気 分によって。 ・とても楽しみに している。先生や 友達の話の家でも よくしている。 ・身体を動かす事 が少ないので、時 間も長い為退屈す ることもあるよう だ。 ・気の合う友達と 出会えたようであ りがたい。 ・最初の頃は朝泣 いていたが今は泣 かずに通っている ・いつもとても楽 しみにしている。 ・楽しみにしてい るし、ひらがなな どすごく上達し感 謝している。 	通所を楽しみ にさせていただ けるよう、療 育・保育活動 や支援方法を 検討してい く。
	②③	事業所の支援に満足しているか	23	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所より きめ細かく良心的 で職員も信頼出来 て安心して預ける ことが出来、勉強 等内容（課題）も しっかりしてい る。 ・連絡帳や送迎時 に話した内容にす ぐに対応してくれ 支援してくれる。 ・連絡帳にも細か く様子を書いてく れたり、子どもが 楽しく通っている のがよくわかるの でとても感謝して いる。 ・引き続き見ても らいたい。 	本人・保護者 等のニーズをし っかり把握し て支援してい く。

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）
事業所における自己評価結果

平成30年11月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	3	2	机やラグマット等を用いてスペースを分け、使いやすくしている。	身体が大きい児童が多い時は少し狭く感じたり、午睡やオムツ交換のスペースがもう少しあると良いが、児童は自然に午睡の邪魔をしないように遊ぶことを学んでいたりと、現在あるスペースを有効に住み分けし、狭い中でも活動内容に工夫していく
	② 職員の配置数は適切である	5	0	加配している	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0		トイレの段差については、排泄の安全確保から全児童に職員が付き添う事にしている。今後も段差について、また指導訓練室全体について危険が無いよう安全確保していく
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	毎日清掃・玩具等消毒を実施している。	活動に合わせたスペース分けとスペースに見合った体を使った活動も取り入れていく
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	5	0	目標管理・業務意識についてのセルフチェック表の実施、会議他発言の機会を設けている	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	児童発達支援ガイドラインの保護者評価を公表すると共に会議で改善点を検討	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	各自己評価を会議で検討し結果をホームページで公表している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている (無回答1)	1	3		市の実地指導を受けている。第三者機関（業者等）については検討する

	⑨	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	毎月職場内研修を実施。その他外部研修に適宜参加している	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1	事業所作成のアセスメント表と保護者から提供される標準化されたアセスメント結果双方を使用している	標準化されたアセスメントは専門家が実施すべきものであるため、今後も事業所作成のアセスメント表と保護者からの情報提供(専門家による知能検査等及び所見)双方を使用する。標準化されたアセスメントツールの使用については、児童福祉の動向を見ながら検討していく
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	2	3		各活動の担当者が主となっているが、案を引き出したり提案する機会を増やす
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	個別課題は個々に合ったものを日々選んでいる。その他は安定と変化のあるものと工夫している。	工夫を継続しつつ、更に体を動かす活動や、他事業所見学等も検討する
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	0	5	支援開始前ではないが、事前に職員連絡帳や口頭にて伝え、また、その都度声を掛け合っている	内容の漏れが無いよう徹底していく

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	1	4	打ち合わせという形態ではないが⑲と同様の形態で共有している	同上
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	毎日の記録を基に、支援会議や日々の会話の中で検証・改善検討している	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している (無回答1)	4	0		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	実施された時には児童発達支援管理責任者が参加している	(相談支援事業所のサービス担当者会議が少ない)
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている (無回答1)	2	2	保護者からのニーズにより主に保護者を通して連携。	連携の機会があれば実施
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	主に保護者を介して実施し、必要に応じて訪問している	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	個別の教育支援計画への情報提供をしたり、保護者を通して伝えられるようにしている	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	専門機関の検査結果および所見は保護者から情報提供を受け、研修は個々で受講し職場内研修に反映している。	通所支援事業所連絡会への出席は放課後等デイサービス職員が中心に出席しているため、児童発達支援でも出席できるように調整

	⑳	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	4	事業所としては場がないが、個々がそれぞれ幼稚園等に所属している。また公園で遊び接する機会がある	
	㉑	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども。子育て会議等へ積極的に参加している	0	5		参加の機会があれば実施
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0		
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング等）の支援を行っている	2	3	プログラムとしては未実施だが個々の相談に応じている	ペアレントトレーニングの専門職がおらず実施できないが、今後も相談に可能な範囲で対応していく。
保護者への説明責任等	㉔	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0		
	㉕	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		
	㉖	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	㉗	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5		保護者同士の連携の在り方について検討する
	㉘	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0		
	㉙	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0		
	㉚	個人情報の取り扱いに十分注意している	5	0		
	㉛	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0		
	㉜	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	法人として近隣の別事業所が祭りに招待している	事業所がマンション店舗内にありガラス張り比較的オープンな環境であるが、今後できることを検討する

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		保護者への周知方法について検討する
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	0		
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0		
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	法人内の実際のヒヤリハット報告等を会議で検討している	
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1	毎年会議で扱っている。	
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	身体拘束は食事時等、座位の安全確保が必要な場合のみ	